

公表:令和5年2月15日 事業所名 あんあんclass白石中央ルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10				
	②	職員の配置数は適切であるか	5	5			利用する児童数に合わせた職員配置を設定していますが、当日やむを得ず欠勤になり予定していた職員配置より少なくなってしまう事があります。その際は、連絡帳の記入を控えた人員には入っていない管理者が入る等して療育の質を落とす事がないよう取り組んでいます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	2		朝夕の写真や絵カードでの提示、スケジュールの提示等、視覚的構造化に取り組んでいます。室内に段差はありませんが、玄関の所だけ段差がありますので今後利用する児童によっては対応を考えていきます。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10				
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	6			今年度より取り組んでいく予定です。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			自己評価の他に自社独自のアンケート調査もを行い、保護者様より頂いたお言葉を療育で反映出来るよう取り組んでいます。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2		まだまだ至らない点は沢山ありますが、この評価で頂いた保護者様の声をもとにひとつひとつ改善に向けて取り組んでいっています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	5	1		第3者ではありませんが、グループ内の他事業所と連携しお互いの事業所での取り組みの良い点や改善点を評価しあう機会を設けています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	2		今年度は内部研修・外部研修に積極的に参加する事ができた。前年度よりは行っていると思う。	今後は、職員が受けた研修を他の職員にもしっかり伝達・共有していく事が課題です。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	2			利用児童の年齢が低い事や特性により、子ども自身のニーズというよりは保護者のニーズが中心になってまいります。指導員からみたニーズ・課題と保護者からみた子どもへの要望・ニーズに相違がある事があります。その上で、どのように寄り添って同じベクトルで療育に取り組んでいけるかが課題です。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	4		一部使っていると。全員には全て使えていないと思う。検査バリエーションは充分とは言えません。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	2			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	2			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2	1		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	3	1	同じ活動の中で少しずつ変化を取り入れ、その中で子ども達の反応を見たりしています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9	1			お子さんによって個別活動を重視するよりも集団の中での関わりを大事にしたいお子さんもいます。基本的には個別活動と集団活動の中で評価していますが、その旨を保護者さんにはしっかり説明出来ていない場合がありますので、今後の課題だと考えています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2	1		毎回ではないが話をする時間を設けるようにしている。だが毎回は難しい。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	2		打ち合わせではないが振り返りを行っている。	療育の中での気付き今後の課題となる点や長所等職員間で共有ツールにて情報を共有しています。支援終了後とするとパート職員は帰宅しています。正職員も超過勤務してしまう事になりますので、正確な話し毎回そのような時間を設ける事は現状では難しいです。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	1			
⑳	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10			毎月行っています。今後も継続して取り組んでいきます。		
関係機関 や保護者との 連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	4			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	3			医療的ケアが必要なお子さんの利用は現在ありません。関係機関とは保護者様を通じて情報共有させて頂いています。場合によっては直接お電話でお話させて頂く事もあります。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもと主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	3			

関係機関や保護者との連携	⑮	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	4		幼稚園・保育園と連携する際でも必ず保護者の了解を得てからになります。保護者の中には、LINEを利用している事知られたくないという方もいますので、先ずは了解を得てからとなります。	保護者様を通じて情報を共有させて頂く事はあります。コロナ前は直接保育園さん幼稚園さんに見学に伺って頂く等もありました。今後再開していけたらと思います。			
	⑯	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	5			保護者様から意向があれば行いたいと思います。			
	⑰	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3	1					
	⑱	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	5			今後は同グループの保育園と交流する場を設ける事が出来るよう検討していきます。		
	⑲	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	5	3					
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10							
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	8	1	1			お子様の障がい特性によってはペアレント・トレーニングも有効かと思っております。ですが、全員に必要なと問われるとその必要は本当にあるのか疑問に思っています。利用している殆どのお子さんは事業所と家庭での使い分けをしています。一歩社会にては事業所や園では出来ていても、家ではやらない。それは相手が母親・父親だからです。事業所で行っている取組みや声掛けをそのままお父さんお母さんがやっても効果は薄い事が多いです。もちろん園ごとに関してはアセスもしていますが、それはペアレント・トレーニングと呼べないのであれば、今後どう対応していったらよいか考えていく必要はあるかと考えています。		
	㉒	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10							
	㉓	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	1						
	㉔	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10							
	保護者への説明責任等	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	1			今年度は茶話会や親子レク等といった内容で保護者同士が顔を合わせる機会を設ける事ができました。 定期的に茶話会を開催し子どもの親同士、心配事や悩みを共有し合える場所を作り工夫を行っている。	今年度の開催した際の保護者様の声をもとに次年度より良い茶話会が開催できるよう取り組んでいきます。	
㉖		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10							
㉗		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	5				定期的な会報を出す予定は今後ありませんが、行事の際は事前にお便りを配布しています。		
㉘		個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	1						
㉙		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1						
㉚		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		7	3			地域住民を招待するよう取組みは現時点では考えておりません。開催するにあっても、このような時代ですから十分な配慮・警戒も必要だと考えています。ですが、ハロウィンやお祭り行事の時には近隣の方が挨拶してくれたりお声掛けしてもらった事もあります。また、ボランティヤさんの受け入れ、子ども学童さんや大学からの実習生の受け入れ、中学生の職業体験の受け入れ等「開かれた運営」になるよう積極的に取り組んできました。		
非常時等の対応		㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10						
		㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1					
		㉝	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	8	2				お迎えの際もその日の体調を伺い、お子さんの体調によっては活動内容を変更する等して対応しています。	見守りに確認させて頂いておりますが、基本的にはお薬をお預かりして服薬させる事は出来ません。ですが、てんかんをお持ちの場合でもそれを理由に受け入れをお断りする様な事はありませんので、もしてんかんがあると判明した場合でも一度相談して頂けたらと思います。
		㉞	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	10						
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10							
	㊱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10					蒸餾水でも虐待に繋がる可能性がある為、職員の対応についてのヒヤリハットも記入し職員間で情報を共有している。		
	㊲	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	1				今年度、虐待防止委員会が本格的に始動し身体拘束に関わる指針について職員間で確認したところで、今後はお子さんによっては計画書の方に記載した説明同意のもとで取り組んでいく事があるかと思っております。		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

